

News!



JAグループで全国初! キッチンカー「惚れ²号」お披露目

農畜産物PRや食農教育などに活用

茨城県本部



JAグループ茨城の統一キャラクター「ほなみちゃん」と「惚れ²号」

茨城県本部は9月25日、茨城町のポケットファームどきどき茨城町店で、JAグループで全国初導入となるキッチンカー「惚れ²(ほれほれ)号」のお披露目除幕式を開きました。当日は、キッチンカーで「ミニトマトとレタスのコンソメスープ」と「ピーマンの塩こんぶ和え」の2品目の試食提供も行いました。

キッチンカーの導入は昨年12月、県内14JAの営農関係部課長で構成している「園芸事業研究会」で意見が出されました。その後検討を重ね、この8月にキッチンカーが完成しました。

キッチンカーには、カンショやピーマン、メロンなど、「JAグループ茨城品目流通部会」の各部会の12品目



キッチンカーの除幕をした川津修県本部長と各JA部長

(野菜8品目、果実3品目、花き)と、JAグループ茨城の統一キャラクター「ほなみちゃん」、茨城県のランドマークである筑波山を描きました。

今後は、PR活動での使用やJAの女性部を中心に展開する食農教育などに活用し、茨城県産青果物の知名度アップや、販売力強化につなげられるよう取り組みます。

News!



ロンドン「ジャパン祭」で被災地復興を支援

米、梨、桃、ナス、キュウリなど福島県産農産物を提供しPR

総合企画部



福島県産農産物をPRする福島県人会関係者ら

全農は9月30日、イギリス・ロンドン中心部の観光名所トラファルガー広場で開催された日本の文化や産物を紹介するイベント「第10回ジャパン祭」で今年も在英福島県人会に協力し、福島県産農産物の安全・安心を多くの方にPRしました。

ジャパン祭は平成21年から始まり、在英の日本人社会で最大級のイベントとなっており、今年で10周年を迎えました。今年も、ステージでの日本文化に関わる各種催し物や日本の食品などの販売を通じて、日本文化を発信しました。

全農は、在英福島県人会(満山喜朗会長)から「福島県産農産物の安全・安心を世界にPRすることにご協力いただきたい」との要請を受け、平成25年から福島県産

農産物を提供しています。今年には福島の米、梨、桃、ナス、キュウリ、桃ジュースを提供しました。福島のブースには午前10時の開場と同時に来場者が列をつくり、用意した商品は早々に完売するほど大盛況でした。

今回の売上金は、これまでの福島への支援に対する恩返し義援金として、県人会から西日本豪雨災害、北海道大地震の被災者のために寄付されます。

全農は、福島県産農産物の風評被害払拭のための取り組みを引き続き行っています。



福島県産の農産物を手に取る市民



神奈川県産米「はるみ」をラジオ番組でPR

30年産米の流通がスタート

神奈川県本部

神奈川県本部は、10月20日放送のJAグループ神奈川が提供するFMエフエム「ハマ」JA Fresh Marketで、神奈川県生まれの米「はるみ」を紹介しました。

「はるみ」は「コシヒカリ」と「キヌヒカリ」を交配させた良食味のお米です。平塚市内にある営農・技術センターで開発され、平成27年産で本格的にデビューしました。

出演した同センターの開発担当室長と県本部の米穀担当者は、開発に19年の歳月をかけたことなどを説明

し、食味ランキングで最高評価である「特A」を2年連続で受賞した実績をお伝えしました。

その後試食をした同番組DJの木村英里さんもそのおいしさについ。学校給食に使用されていることを聞き、思わず「うらやましい！」との声もあがりました。

30年産「はるみ」は県下JA直売所で好評発売中です。※FMエフエム「JA Fresh Market」は毎週土曜午前8時から放送中です。



川産米で特A取得
営技センターで収録を行った。左から木村さん、県本部米穀担当の高橋和也さん



JA湘南管内を訪れ、生産者と「はるみ」のおにぎりを試食

「きのこ王国・にいがたフェア2018」を開催

レシプリーフレット配布し、きのこのおいしい食べ方提案も

新潟県本部

新潟県本部は10月14日、新潟市西区の道の駅 新潟ふるさと村で「きのこ王国・にいがたフェア2018」を開き、「旬」を迎えた新潟県産きのこの試食、即売会などを行いました。また、10月15日が「きのこの日」（日本特用林産振興会が制定）であることも併せてPRしました。

新潟県は全国第2位のきのこの生産量を誇るきのこの産地です。「きのこ王国・にいがたフェア」は、新潟県産きのこの旬に合わせて、消費を喚起するために、新潟県森林組合連合会・新潟県JAきのこ協議会と連携して毎年開催している恒例のイベントです。

食を提供しました。レシプリーフレットも配布し、きのこのおいしい食べ方を提案することで、多くのお客さまから好評でした。

また、体験型イベントとして、原木シイタケの駒打ち体験やきのこ目方当て選手権を実施し、多くのお客さまに参加いただき、にぎわいました。

今後もこうした取り組みを通じて、「新潟県産きのこ」を幅広く消費者にPRしていきます。



きのこの試食・即売



子どもたちも参加した原木シイタケ駒打ち体験



「きのこ王国・にいがたフェア2018」を開催

レシプリーフレット配布し、きのこのおいしい食べ方提案も

新潟県本部

新潟県本部は10月14日、新潟市西区の道の駅 新潟ふるさと村で「きのこ王国・にいがたフェア2018」を開き、「旬」を迎えた新潟県産きのこの試食、即売会などを行いました。また、10月15日が「きのこの日」（日本特用林産振興会が制定）であることも併せてPRしました。

新潟県は全国第2位のきのこの生産量を誇るきのこの産地です。「きのこ王国・にいがたフェア」は、新潟県産きのこの旬に合わせて、消費を喚起するために、新潟県森林組合連合会・新潟県JAきのこ協議会と連携して毎年開催している恒例のイベントです。

食を提供しました。レシプリーフレットも配布し、きのこのおいしい食べ方を提案することで、多くのお客さまから好評でした。

また、体験型イベントとして、原木シイタケの駒打ち体験やきのこ目方当て選手権を実施し、多くのお客さまに参加いただき、にぎわいました。

今後もこうした取り組みを通じて、「新潟県産きのこ」を幅広く消費者にPRしていきます。



きのこの試食・即売



子どもたちも参加した原木シイタケ駒打ち体験

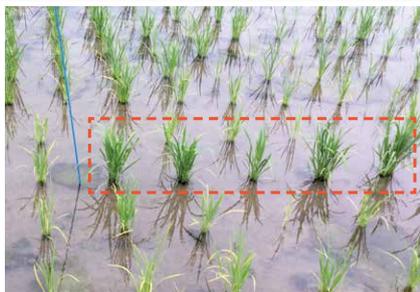
News!



土壌診断項目に「可給態硫黄」導入準備進める

水田土壌での硫黄不足顕在化に対応

営農・技術センター



全体的に硫黄欠乏が発生している圃場①。点線で囲んだ青いボールの右側5株には株元へ硫マグを施用した。硫マグ施用により葉色は濃く茎数は多くなり、生育が改善した②

近年、全国各地で水稻の「硫黄欠乏」の発生が報告されています。火山大国である日本では土壌中に硫黄がたくさんあるため重要視されず、むしろ硫黄の蓄積が秋落ち田の一因として避けられてきましたが、逆転現象が起きています。そこで、硫黄欠乏への対応として「可給態硫黄」を新たな土壌診断項目として導入する準備を進めています。

硫黄は植物にとって欠かせない養分の一つであり、欠乏すると葉の黄化や茎数の減少など窒素欠乏によく似た症状を示します。「いつも周りの圃場より収量水準が低い」と思っていたら原因は硫黄不足だった、また硫黄を追肥すれば回復するので、窒素欠乏だと思われ見過ごされているといったケースがあります。現地では、育苗培土に石膏を混ぜ込む、硫黄

グや石膏を追肥する、といった対策が取られています。硫黄欠乏の発生リスクは土壌中の可給態硫黄を分析することである程度評価でき、すでに水田土壌について実態調査を始めている県もあります。

土づくりによる安定生産を目指し、広域土壌分析センターとしては新たな土壌診断の項目として可給態硫黄の分析体制を整備し、硫黄欠乏の対策を進めていきます。

News!



メディアの記者と全農役員が懇談

大分の料理を味わいながら懇親深める

広報部



懇談会であいさつする長澤会長。後列左から寺田純一参事、山崎周二専務、神出理事長、岩城晴哉専務、戸井CO

全農は10月9日、東京・大手町のJAビルで、農政クラブと農協記者クラブの記者と全農役員との懇談会を開きました。懇談会は全農の事業、取り組みなどについて、理解してもらおうことを目的に開催し、新聞社やテレビ局15社から30人が参加しました。

懇談会に先立ち、神出元一理事長から全農レポートの説明、戸井和久COから営業開発部の取り組みについて説明しました。昨年、長澤豊会長の地元

全農は今後もメディアとのコミュニケーションを進めていきます。



記者と懇談する神出理事長②

47都道府県のおむすびのレシピはこちら

台湾全農インターナショナル株式会社

最も日本に近い環境の市場で挑戦始まる

台 湾全農インターナショナル株式会社(台湾全農国際股份有限公司)は、2018年5月にJA全農インターナショナル株式会社の4番目の海外拠点として新しく設

事 務所は、台北のランドマークでもある地上101階建ての超高層ビル「台北101」近くのレンタルオフィスに居を構えましたが、

立されました。

しかし台北101の近くとは

言っても下町情緒の漂う非常に台湾っぽい雰囲気の中にあります。

ことが可能です。このような世界で最も日本に近い環境の市場への全農の挑戦が始まった訳です。

「台北101」近くのレンタル

オフィスに居を構えましたが、

台 湾は日本からの旅行者が多く、また逆に台湾から日本への旅行者も多いなど、両国の関係は国家・国民とも非常に良く、このため日本の多くの企業や店舗が台湾に進出して来ています。

日 本に近い環境ということ、大きなポテンシャルを秘めたところであると同時に、一方、そのような魅力的な市場であるがゆえに、非常に競争の厳しいところであるとも言えます。

ま た台北で生活する中で、値段さえ気にしなければ、通常海外では比較的に購入することが難しい家庭菜園を含め日本のありとあらゆる商品をほぼ100%購入する

台 湾全農インターナショナル(株)は、既存の取引先との関係を重要視しながら、併せて自らの商流を構築し、まさしく「産地から消費者まで一貫して全農グループが担う」というスキームを台湾で実現する」という理想に向かい、あらゆる可能性を模索しながら日本の農畜産物の販売拡大を図っていく考えです。

所でしたが、10月に現地スタッフ1人が加わって2人体制となり、いよいよその準備が着々と整いつつあります。

創 設期で、台湾なまりの中国語と見慣れぬ繁体字に悪戦苦闘しながら何から何までやらねばならない忙しい日々ですが、理想があればその実現は決して夢ではなく、全農マークの商品が街を席巻することを思い描いて、夕暮れの台北101を見上げる毎日です。



野末知裕総経理(左)、黄毓婷さん(10月1日から)

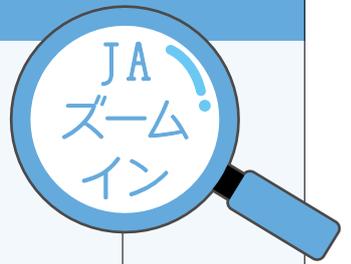


新光三越での日本商品展へ出店



台北101(中)と台湾全農インターナショナル株式会社が入居するビル(左下)

二) のような中、今年9月までは駐在員1人事務



ブドウの「ニューピオーネ」 「天空の実り」「美王」で全国へ

JAびほく (岡山県)



概要	平成30年3月31日現在
正組合員数	8979人
准組合員数	3433人
職員数	313人
販売品取扱高	39億円
購買品取扱高	47億5千万円
貯金残高	1090億5千万円
長期共済保有高	4078億3千万円
おもな農畜産物	ニューピオーネ、夏秋トマト、白桃、米、備中牛、フォックスフェイスほか

JAびほくは、昼夜の寒暖差を利用したブドウ・「ニューピオーネ」の栽培が盛んで、全国屈指の産地です。今年3月には、第47回日本農業賞集団組織の部で大賞に輝きました。びほく農協どう生産部会は、生産者所得向上を第一に掲げ、「ワンランク上の産地でありたい」という熱い思いの下、平均栽培面積25アールほどの小さな農家が結集した、部会員600人を超える岡山県



特秀「美王®プレミアム」

最大の部会です。 全国に先駆け色彩選別カメラ導入し品質均一に

JAと部会では、出荷物の安定供給とスケールメリット、厳しい選果体制を生かした有利販売をしています。平成25年には主力5ホクテナラインに全国初の色彩選別カメラを導入した「西部どう選果場」、27年に同カメラを導入した「中央どう選果場」を整備しました。従来の8選果場から2大選果場体制となったこ

とで、市場ロットが拡大し大口注文にも対応でき市場交渉力も向上しました。色彩選別カメラの導入で、果皮の色づきと粒の隙間の比率をカメラが瞬時に読み取り、等階級を判別し、病虫害の有無などを選果員が判断する2段階選果を実現。同一規格内での品質も均一となり、選果場の違いによる等階級判別の格差もなくなり、市場の評価も高まりました。

JA独自に最上等級設け差別化で高単価を実現

28年からJA独自規格の最上等級「特秀」を設け、差別化で高単価での販売をしています。認知度向上とブランド力のさらなる強化を目指すため、マーケティング

ングにも力を入れ、今年2月、びほくの「ニューピオーネ」全体を「天空の実り」、上位等級の赤秀を「美王」、特秀を「美王プレミアム」と名付け商標登録をしました。中山間地特有の昼夜の寒暖差で育まれる特長と、出荷時期に発生する天空の山城「備中松山城」の雲海にあやかり命名。「美王」には、美しい房の形と、JAが全国屈指の



9月の台湾トップセールスで市場を視察

ニューピオーネの産地であり、その中でも上位に君臨するもの、という意味を込めています。台湾や香港などアジア圏への輸出も視野に入れたネーミングでもあり、輸出対応も強化していく方針です。

9月初旬には、ブランドページの開設ほか、リーフレットの作成、主力の5ホクテナ箱に「天空の実り」と印字、特秀・赤秀には専用のタグをつけ、市場へ送り出しています。専用タグには、JA公式ユーザーブチャネルで公開しているPR動画へつながる二次元コードを配置し、産地PRにつなげています。

ブランドページは
こちらから



左奥の色彩選別カメラで選果

徳島県本部 だより

徳島県本部

自己改革 実践中!



県内農業の生産振興に向け 施設園芸実証プロジェクト

県内JAと共同で実証試験次々と

徳島県本部は、生産から販売までの一貫したシステムの構築と、新規就農者の育成を目的として、平成29年度から新事業として「施設園芸実証プロジェクト」を開始しました。

県内3カ所の実証ハウスでイチゴ・キュウリ・ミニトマトの栽培を行い、生産技術の確立や新品種の調査に取り組んでいます。

JAかいふと連携し キュウリの実証試験

JAかいふ管内（海陽町）に新設したキュウリハウスでは、「ロックウール



キュウリハウスで小学生に収穫体験を指導する職員



キュウリの養液土耕栽培の実証試験

栽培」と「養液土耕栽培」を併用した実証施設で栽培方式ごとに管理システムを分け、実証試験に取り組んでいます。

また、JAかいふが取り組む「きゅうりタウン構想」の一環である「海部きゅうり塾」と連携し、研修場所の提供や栽培技術の交換を行い、栽培技術の確立を目指しています。

県との共同研究イチゴ新品種 「阿波ほうべに」で実証試験

JA徳島市管内（徳島市多良良町）に新設したイチゴハウスでは、県との共同研究のもと、新品種イチゴ「阿波ほうべに」の栽培に取り組んでいます。実証試験では、「自動養液栽培シ



新品種「阿波ほうべに」の実証試験栽培

ステム」などを活用して省力化に取り組み、市場性・栽培面の評価を行い、この品種が県を代表する次世代品種となり得るか検討を進めています。

また、出荷・調製作業の簡素化を図るため、収穫品を県本部青果センターでパック詰めし、市場へ流通させる仕組みの構築に取り組んでいます。

JA板野郡と「ういずOne」 導入しミニトマトの実証試験

JA板野郡の子会社（株式会社JA板野郡アグリサポート）の育苗施設（阿

波市土成町）で、全農式隔離床養液栽培システム「ういずOne」と富士通株式会社の食・農クラウド「Akisai」（秋彩）を導入し、低コスト養液栽培システムを活用した生産から販売までの一貫したシステムづくりを目指し、JA板野郡と共同でミニトマトの実証試験を行っています。



「ういずOne」と食・農クラウド「Akisai」を導入したミニトマトの実証試験

今後、こうした実証試験を通じて得た栽培体系や経営指標をもとに、遊休施設などへの導入や活用を進め、県内農業の生産振興につなげていきます。



11月10、11日に第9回ファーマーズ&キッズフェスタ2018 プロ農業者が子どもと農業つなぐ架け橋に



親子連れでにぎわうファーマーズ&キッズフェスタ2017

全農ブースでは、野菜を身近に感じてもらうために、野菜詰め放題、野菜や果物を作る折り紙ワークショップを開きます。また全農に関するクイズを出し、正解者には全農ブランドの商品をプレゼントします。

皆さま、お子さまとともに、ぜひとも全農ブースへお越しください!

日本全国のプロ農業者が集い、「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子どもたちに元気なニッポン農業を発信する「ファーマーズ&キッズフェスタ2018」が今年も11月10、11日、東京都の日比谷公園で開催されます。

【TAC推進課】

こだわりの新鮮な農産物を東京のど真ん中にお届けするとともに、楽しいステージや農業&食をテーマにしたワークショップ、農業機械の乗車体験、動物との触れ合いなど、さまざまな形で農業の魅力と楽しさを紹介します。全農はこのイベントに協賛しています。

名称 第9回ファーマーズ&キッズフェスタ2018
～農業と子どもの元気が日本を元気にする～

日時 2018年11月10日(土)～11日(日)10:00～16:00
※雨天決行・荒天中止

場所 日比谷公園 大噴水広場

入場 参加無料

主催 ファーマーズ&キッズフェスタ実行委員会
(構成団体:公益社団法人 日本農業法人協会)

＼公式ホームページはこちらから/
<http://farmerskids.jp/>



食と農のWEBマガジン

Apron
エプロン

Web限定の「レシピ検索」「菜園づくり」etc.
ぜひご覧ください!

Webマガジンは
こちらから

Apron Web 検索
<https://apron-web.jp/>



JAタウン | 検索 クリック

さぬき旬彩館 (香川県)



JAタウンは
こちらから



キウイ☆さぬきゴールド1.5^{kg}(8~9玉).....4660円

香川県ではキウイの品種改良やオリジナル加工品の考案が熱心に行われ、様々な品種が誕生しています。

「さぬきゴールド」もそのひとつで、ごろんと丸い形で、重さは平均160~200gとずっしり、果肉は鮮やかな黄金色で、味は、酸味控えめで平均糖度が14.5度以上と高く、フルーティな味わいが特長です。また、一般のキウイに比べて3倍のビタミンCと1.3倍のビタミンEが含まれています。

平成27年に施行された「食品表示法」により、生鮮食品でも栄養機能食品(栄養成分と機能性)の表示が可能となり、JA香川県では贈答用化粧箱に【ビタミンC】と【ビタミンE】を表示しています。

この機会にぜひ、ご賞味下さい。

なお、ご紹介した商品は、11/14(水)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛代金引換のみ)。※天候などによりご希望に沿えない場合があります。

【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入のうえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。商品代金の他、クール代、お届け先により送料がかかります。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。